

平成21年度 決算報告書

国立大学法人山形大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	12,276	13,409	1,133	(注1)
施設整備費補助金	1,951	3,976	2,025	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
施設整備資金貸付金償還時補助金	-	-	-	
補助金等収入	894	2,260	1,365	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	65	65	-	
自己収入	16,090	17,778	1,687	
授業料、入学金及び検定料収入	5,414	5,197	△ 217	(注4)
附属病院収入	10,518	12,253	1,734	(注5)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	157	327	170	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,447	1,829	382	(注7)
引当金取崩	-	40	40	(注8)
長期借入金収入	2,800	2,702	△ 98	(注9)
貸付回収金	-	5	5	(注10)
承継剰余金	28	28	-	
旧法人承継積立金	-	-	-	
目的積立金取崩	449	793	344	
計	36,003	42,890	6,886	
支出				
業務費	23,893	26,008	2,114	(注11)
教育研究経費	12,520	12,582	61	
診療経費	11,372	13,426	2,053	
一般管理費	3,774	4,107	333	(注12)
施設整備費	4,817	6,743	1,926	(注13)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	894	2,250	1,356	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,447	1,710	262	(注15)
貸付金	-	5	5	(注16)
長期借入金償還金	1,177	1,177	0	(注17)
国立大学法人財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	36,003	42,003	5,999	
収入-支出	-	886	886	

※1)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

※2)「産学連携等研究収入及び寄附金収入等」のうち、前事業年度よりの繰越額からの使用額579百万円

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、平成20年度退職手当及び特別教育研究経費等に係る運営費交付金債務の繰越額により、予算額に比して決算額が1,133百万円多額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、計画の段階で予定していなかった平成21年度補正予算に係る施設整備費補助金の受入等があったため、予算額に比して決算額が2,025百万円多額となっています。
- (注3) 補助金等収入については、計画の段階で予定していなかった補助金等の受入があったため、予算額に比して決算額が1,365百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学金及び検定料収入については、当初見込みに比して、平成21年度在籍者数の減等により、予算額に比して決算額が217百万円少額となっています。
- (注5) 附属病院収入については、手術件数の増、診療単価の増等により予算額に比して決算額が1,734百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、資金運用による財務収入の増及び損害保険の受領等により、予算額に比して決算額が170百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、受託研究等の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が382百万円多額となっています。
- (注8) 引当金取崩については、有期雇用職員等の退職手当等の増により、予算額に比して決算額が40百万円多額となっています。
- (注9) 長期借入金収入については、基幹・環境整備において当初計画よりも契約金額が下回ったため、予算額に比して決算額が98百万円少額となっています。
- (注10) 貸付回収金については、本学独自の制度である学生支援基金回収金の増により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注11) 業務費については、病院収入の増加に係る診療経費の増や病棟再整備に係る工事費及び施設費前倒し等により、予算額に比して決算額が2,114百万円多額となっています。
- (注12) 一般管理費については、学内予算の変更等により、予算額に比して決算額が333百万円多額となっています。
- (注13) 施設整備費については、(注2)及び(注9)に示した理由により、予算額に対して決算額が1,926百万円多額となっています。
- (注14) 補助金等については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が1,356百万円多額となっています。
- (注15) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注7)に示した理由等により、予算額に比して決算額が262百万円多額となっています。
- (注16) 貸付金については、本学独自の制度である学生支援基金及び国際交流事業基金の貸付の増により、予算額に比して決算額が5百万円多額となっています。
- (注17) 長期借入金償還金については、平成20年度借入設備の利率が予定より低い利率で確定したことにより、予算額に比して決算額が0百万円少額となっています。